

# 運輸安全マネジメント

愛知陸運株式会社は、運輸安全マネジメントに取り組み、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。

## 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 当社は全従業員に対して、輸送の安全確保が最も重要であるという意識を教育や啓蒙活動を通して徹底させます。
- (2) 当社は運行管理体制の充実を図り、法令に定められた運行管理を適切に機能させます。
- (3) 当社はP D C A（計画・実施・評価・改善）を実践する事により、輸送の安全に関する継続的な向上を図ります。

## 2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況(対前年比)

- (1) 2022年度目標：重大事故ゼロ・人身事故ゼロ  
(公道・構内事故25件以下)  
**2022年度実績：事故件数前年比28%増加**
- (2) 2023年度目標：重大事故ゼロ・人身事故ゼロ  
(公道・構内事故25件以下)  
**2023年度実績：事故件数前年比3%減少**
- (3) 2024年度目標：重大事故ゼロ・人身事故ゼロ  
(公道・構内事故25件以下)  
**2024年度実績：事故件数前年比57%増加**
- (4) 2025年度目標：重大事故ゼロ・人身事故ゼロ  
(公道・構内事故25件以下)  
**2025年度実績：事故件数前年比28%減少**
- (5) 2026年度目標：重大事故ゼロ・人身事故ゼロ  
(公道・構内事故25件以下)

## 3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

2022年度	： 0件
2023年度	： 1件
2024年度	： 1件
2025年度	： 0件

#### 4. 輸送の安全に関する重点施策

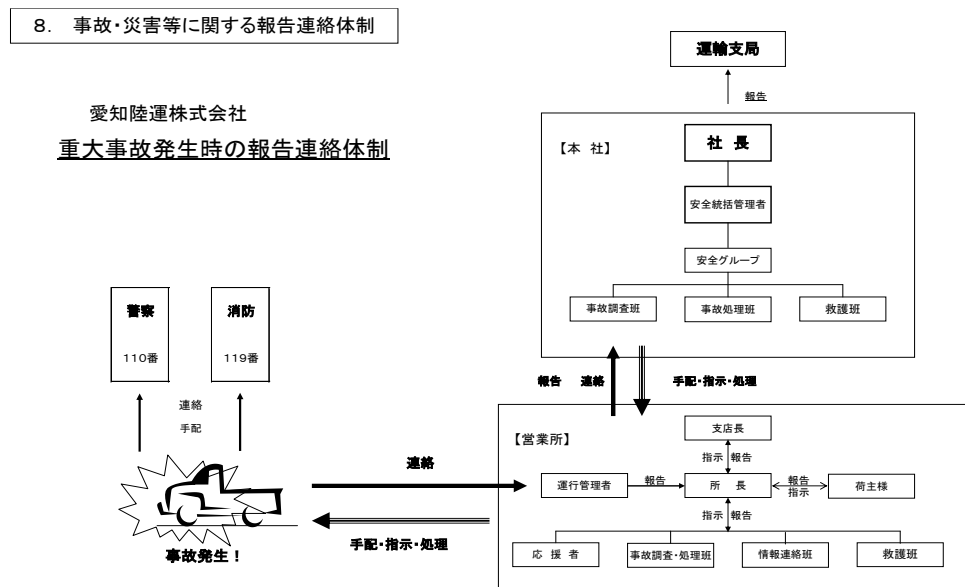
- (1) 輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を順守します。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極かつ効率的に行うよう努めます。  
安全性向上のためデジタコ・ドライブレコーダーを全車に導入します。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達し、共有します。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を作成し、これを的確に実施します。

#### 5. 輸送の安全に関する計画（2026年度）

- (1) 交通事故件数 抑制の取組み
  - ①『個』の指導を強化
  - ②全乗務員ドラレコ解析を行い、個別指導を継続  
事故発生リスク者の洗い出し、新規指導要領による個別指導
  - ③ドライブレコーダー画像を活用した危険予知訓練（KYT）の実施
  - ④3年未満者対象…活動計を用いた睡眠管理
  - ⑤『貨物自動車輸送事業者が事業用自動車の運転手に対して行う指導及び監督の指針』に基づく運転選任者への12項目乗務員教育の実施・理解テストを実施
  - ⑥KYT、ヒヤリ・ハットの推進…実施率 100%
  - ⑦社内教育センター（渡刈教育センター）を活用、フォークリフト・トラック運転者訓練の実施
  - ⑧社内指導員育成、指導力強化
- (2) 安全対策協議と末端までの情報共有  
経営層・各グループ長・支店長出席の安全品質環境会議を開催/毎月
- (3) 安全啓蒙活動の展開
  - ①全国・地域の交通安全運動にあわせた年4回の事故防止活動  
※大型車両への横断幕装着「安全は全てに優先」
  - ②「0」ゼロの日にあわせた交差点での立哨活動
  - ③外部団体（トラック協会・警察等）との合同立哨活動
- (4) 健康の維持・増進
  - ①定期健康診断・特定業務従事者健康診断（年2回）を100%受診（二次含む）  
心臓疾患発症予防を目的に特定業務従事者健康診断の心電図検診項目追加
  - ②2次検診結果のフォロー
  - ③特定検診と特定保健指導の実施

- ④長時間労働者への医師による面接指導実施
- ⑤異動・昇格者等に対するメンタルチェックの実施
- ⑥S A S（無呼吸症候群）の計画的検査の実施と罹患者への治療確認（月1回）
- ⑦脳ドックの受診（40歳以上乗務員全員実施（3年毎1回）
- ⑧季節性疾病対策（熱中症・インフルエンザワクチン接種）

## 6. 事故、災害等に関する報告連絡体制



## 7. 安全統括管理者、安全管理規定

- (1) 安全管理規定  
「安全管理規程」のとおり
- (2) 安全統括管理者  
管理本部 副部長 東俊哉

## 8. 輸送の安全に関する教育及び研修の計画

- (1) 社員教育研修  
安全Gと採用戦略・教育Gとで協同  
年間計画を作成し、関係部署と連携し階層別教育の実施
- (2) 安全大会  
各支店へ運行管理者及び乗務員による安全大会を実施（年2回以上）  
K Y Tなどのグループ討議、参加型の手法で実施

(3) 適性診断

運転適性診断の受診

診断結果を基に年齢、経験、特性に応じた教育を実施

**9. 輸送の安全に関する内部監査結果及びそれを踏まえた措置内容**

今後も、運輸安全マネジメントの中で、交通事故・労働災害に関するリスクを抽出し、リスクマネジメントを活用しリスクの低減に向けた活動を継続していきます。

令和8年4月1日  
愛知陸運 株式会社  
安全・品質・BCP 部  
岡本 誠至